

社団法人 大阪府 作業療法士会 ニュース

巻頭言

「日本作業療法学会にむけて、私のテーマ」募集
身近な作業療法実践を学会に発表しよう。

(社)大阪府作業療法士会 副会長 茂原 直子
(大阪発達総合療育センター)

6月25日に仙台市で開催された日本作業療法学会総会において、2013年度の日本作業療法学会は、長辻学会長のもと大阪で開催されることが決定いたしました。大阪の作業療法を活性化するために、一人一人の会員にご協力をお願いしたいと思います。

今回の学会では、日頃の作業療法の内容を高め、多くの作業療法士がその知識を共有できる場にしたいと考えています。皆さんが、日々取り組んでおられるテーマ(たとえば、高次脳機能障害や認知症、地域作業療法や作業活動など)に関連して、1)府民向けの公益事業や公開講座、2)作業療法士や関連専門職向け講座、3)学生向けの講座、などの実践を積み重ね、学会発表はもちろんのこと、当日のシンポジウムやワークショップ、教育講演のテーマとして取り上げられるよう提案してもらえないでしょうか?

個人でも任意の団体でもかまいません。養成校の同窓会の勉強会でもかまいませんので、取り組みたいテーマをお知らせください。

たとえば、私の場合で考えると、1)脳性まひ児の二次障害について勉強会を開催する。2)そこで勉強した内容をもとに公開講座や相談会を行う。3)そこでの取り組みを学会発表やシンポジウムに発展させる、という手順に

なります。せっかく3年間ありますので、我々自身の作業療法で学会を創っていくことができると思います。大阪府作業療法士会の会員一人一人にとって、自分の作業療法学会となるように、まず、自分自身で取り組みたいテーマをお知らせください。

実際に、大阪で展開されている作業療法を確認できる機会となり、多くの参加者と現実的な議論を展開し、日本の作業療法に貢献できるような学会にできることを願っています。

大阪府作業療法士会が、本当の意味で府民に貢献できる公益性の高い法人になれること。会員の技量が十分に高まるような研修の機会が増えること。また、学校間や臨床現場の交流が深まり教育水準があがること。多くの関連職種や作業療法士同志がよりよいネットワークを組んで、多くの障害を持つ方々に支持される専門職団体になれるよう、身近なところから作業療法を広げていきませんか?

ぜひ、ご意見をお寄せください。

「学会にむけて、私のテーマ」宛て
mikanotr@hotmail.com

平成23年度から、会費納入方法が「自動振替」に完全移行します。

今年度中に、自動振替の手続きを完了いただきますよう、会員の皆さまのご協力をお願いいたします。
(詳細は、ホームページ <http://osaka-ot.jp/>をご確認ください)